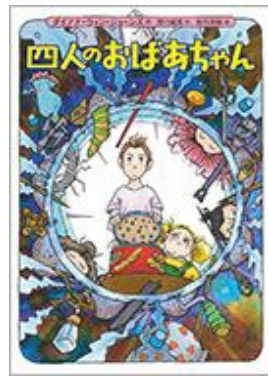


ときつちよう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ちゅうがくねん む ねん あきごう
中学年向け 2023年 秋号



「四人のおばあちゃん」

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ/作
野口 絵美/訳 佐竹 美保/絵 (徳間書店)

はつめい だいす
発明が大好きなエルグとドジなエミリー。
ふたり さいこんどうし
2人のパパとママは再婚同士。だから、おばあちゃんが4人もいるんです。

ある日、パパとママが出張に出かけることになりました。すると4人のおばあちゃんが全員やってきて、エルグたちの面倒を見てくれることに。エルグは、おばあちゃんたちにあれこれ言われるのがだんだんいやになってきて…。

うちどく 家読とは

かぞく みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく (家読)」です。むずかしいルールはいりません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



「川は道 森は家」

伊藤 健次/文・写真 (福音館書店)

ほっかいどう む きし えんがん
北海道の向こう岸、ロシアの沿岸に、ウスリータイガとよばれる森があります。ここには道路がありません。川が道として使われています。

トラやクマ、イノシシなどの野生動物が生活する大変豊かなこの森で、古くからくらす猟師たちは、川で魚をとったり、狩りをして生活しています。

「川は道。森は家。タイガがあるから生きていける。」ここでは、動物も草木も人も、同じ森に、同じ家に生きるものどうし。現地を旅した作者による、写真絵本です。



「防災室の日曜日 はんにんをつかまえろ」

村上 しいこ/作 田中 六大/絵 (講談社)

がっこう ぼうさいしつ ぼうさい
学校の防災室の防災グッズたち。ひよんなことから、町のゆうびんポストの口をふさぐ犯人をつかまえることになった。犯人は段ボールでできたロボットだったという話も!?そこで防災グッズたちは、にせもののポストをつくり、まちかまえることにした。犯人をつかまえることができるのかな?



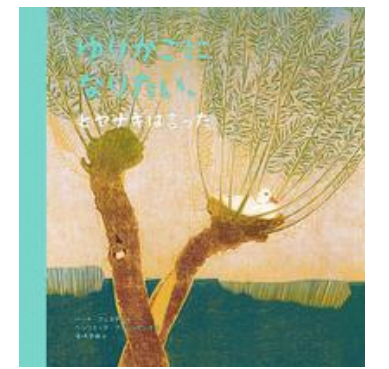
「おんちゃんは車いす司書」

河原 正実/原案 梅田 俊作/作・絵 (岩崎書店)

マサフミ、イチチャン、ケンチャンが図書館で会ったのは、新しく来た図書館司書のおんちゃん。おんちゃんは車いすに乗っている。

赤んぼうが絵本をかじっていても、おじいちゃんが、やまもり本をカゴにいれていても、おんちゃんは「本がすきでくれる人は、だれでもみんな神さまや」という。

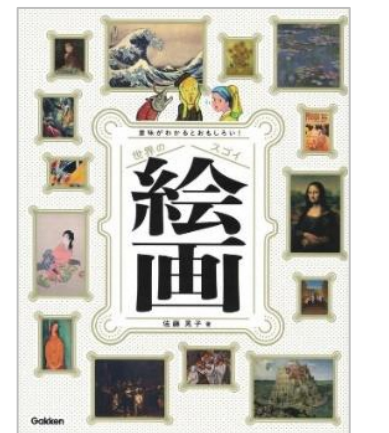
夏休みの夜、外で開かれた「星をみる会」で、絵本を読み終えたおんちゃん。なんだかようすがおかしい。何が起こったのだろう!



「ゆりかごになりたい、とヤナギは言った」

ベッテ・ウェステラ/文 ヘンリエッテ・ブーレンダンス/絵 塩崎 香織/訳 (化学同人)

ナラの木はたんす、ブナの木はおもちゃ、カエデの木はバイオリン。みんなそれぞれ、なりたいものがあるのね。あなたのおうちのテーブルや教室のイスにそっと耳をあてて聞いてごらん。「きみはなりたいものになれたかな?」



「世界のスゴイ絵画」

意味がわかるとおもしろい!

佐藤 晃子/著 伊野 孝行/絵 (Gakken)

見ても意味がわからない名画ってあるよね。有名だから、スゴイ作品だということだけはわかるんだけど…。

そんなときには、この本におまかせ!何を描いていて、どんなことを表現しているのか分かりやすく紹介。また、画家のエピソードもとってもおもしろいよ。

家族で読んで、芸術の秋を深めよう!

発行：時津町立時津図書館